



6月 園だより

令和 5 年 5 月 3 1 日



足立区立元宿こども園

第一園舎 TEL 3882-9466

足立区千住桜木 1-16-2

第二園舎 TEL 3881-0013

足立区千住元町 34-3-101

初夏の日差しの中で

副園長 板倉 幸子

吹く風が心地よく、初夏の香りを感じられる季節になりました。

年長組のHさんが園庭の隅で空を見上げ、フェンスの向こうに飛んでいる白いチョウチョをじっと見て園庭に入ってくるのを待っているようでした。園庭に入ってくると持っていた虫取り網でサッと捕まえました。その姿は思わず保育者が「すごいね」と声が出るほどでした。Hさんはすぐに虫かごを探しに行かずチョウチョを見つめ「このチョウチョはまだ小さいから逃がしてあげる だってEくんが言っていたから」と昨年の子の名前を出し、羽を優しく持って空に逃がしてあげました。別の日にも4歳児と一緒にチョウチョを捕まえていましたが、同じように逃がしていました。理由を聞くと「お母さんとはぐれたら寂しいから 先生も僕もお母さんがいないと寂しいでしょう」と答え、チョウチョに自分の気持ちを重ね合わせ、自分だったら・・・と考える優しさがとてもすてきだと思いました。

年長組の子どもたちがやっている様々な活動は、他の学年の子どもたちにとって憧れです。その憧れの年長の優しい行動を見たり、聞いたりする経験から、他の学年の子どもたちも同じように「やってみよう」「まねをしたい」と思うのではないのでしょうか。そんな優しい連鎖が園の中で広がっていくと、とてもすてきだと思います。

子どもたちが自分でやりたい遊びを見つけて夢中になって遊んだり、心を動かし興味や関心を広げたりできるように園内の環境を整えて、自然との触れ合いが十分にできるように保育者が見守っていききたいと思います。

ごみ収集車が来たよ

第二園舎副園長 石川 千恵子

園舎の前にはほぼ毎日、ごみ収集車がやってきます。職員玄関の所に来たことに気付くと「あ、来たよ」と、すかさず走って行き、フェンスに張り付いてじーっとみつめる2歳児たち。収集が終わって、次の場所へ車が走り出すと、子どもたちも園庭の真ん中を突っ切るように走って追いかけます。そのスピードといたら、凄いです。夢中になった時の子どもが発揮する力にいつも驚かされます。

ジャングルジムの向こう側のフェンスに到着したら、再び見学開始です。これが日課になっているので、作業員の方とすっかり顔なじみになりました。子どもたちが「バイバイ」と手を振ると、同じように笑顔で手を振って応えてくださっています。毎日見られる、何とも微笑ましい光景です。

ごみが収集車の中に押し込まれていく様子が面白いだけでなく、作業員の方が手を振ってくださることも子どもたちには魅力的なのでしょう。こうした体験を重ねることで、人との様々な関わり方に気付いていきます。人に優しく接してもらおう中で、見守られている安心感ももち始めます。社会には様々な役割をもつ人がいることを知り、触れ合うことが地域への親しみにつながると考えます。これからも子どもたちの様々な体験を大切にしていきたいと思っています。



【保護者体験給食について】6月22日(木)

こども園の給食を食べて、保護者の方に給食の味や給食の様子を知っていただく機会にしたいと思います。

ご希望の方は6月19日までに、それぞれの園舎にお申し込みください。

☆献立

- ・梅ごまじゃこごはん
- ・鶏肉の照り焼き
- ・キャベツの即席漬
- ・根菜汁
- ・バナナ

☆お知らせ

- ・一食250円(事前申し込み制)
- ・5歳児と同量です
- ・1回に提供できる食数は3食です
- ・キャンセルは3日前までにお知らせください。
- ・お子さんの給食の様子を見ていただき、第一園舎は園長室で、第二園舎はおひさまルームで給食を食べていただきます。

今後も毎月実施していく予定です。



1・2歳りす組・うさぎ組



「お庭行く～」と園庭での探索活動をととても楽しんでいる子どもたちです。ジャングルジムや花壇付近でアリやダンゴムシを見つけると「みてみて～」と、大きな声で見つけた喜びを保育者に伝えるだけでしたが、次第に「触れてみたい」という気持ちに変わってきました。ダンゴムシに触ろうと恐る恐る手を伸ばしますが、急に動いたり丸まったりする姿に後ずさりする子どももいます。「ダンゴムシどこにいるかな？」とダンゴムシが気になるけれど、怖い気持ちもあり、また触れるようになった友達を見て、虫かご越しから間近で見る経験をするすることで、怖い気持ちから親しみの気持ちへと変わってきています。

最近、青虫を見つけたことから青虫の成長を見守る中で「うんちした」「綺麗にするの」と青虫の世話を保育者も手伝いながら子どもたちと一緒に楽しんでいます。今後も、子どもたちの喜びや発見を受け止めていきたいと思います。

○保育者と一緒に簡単な身の回りのことを行っていきます。

○いろいろな遊びを通して、保育者と一緒に体を動かして遊んでいます。



3歳児ぱんだ組

砂、水、泥での遊びをたっぷりと楽しんでいます。水を入れたタライに、コップをひっくり返して入れると、ぷくぷくぷく…と泡が出ているのを見つけ、「先生見て！コップがおならしたんだよ！」と、目をキラキラ輝かせながら話す姿がありました。「ほんとだね！コップっておならするの？」と聞いてみると、「だってほら、見て！お風呂でおならしたらこうなるでしょ？」と、自分の経験したことと、遊びの中で起きた出来事を結びつけていました。その子どもが友達に「見て！」と声をかけると、面白そうと感じた友達が集まって来て、コップだけでなく、車のおもちゃやスプーンなども沈めてみています。そのうち泥水の中にも沈め、空気が出るか試すことを楽しんでいます。

遊びの中での発見に「ほら、すごいでしょ？」という得意げな顔に、子どもたちの嬉しさが満ち溢れているのを感じます。それぞれの発見を大切に面白さに共感し、一緒に楽しみたいと思います。

○それぞれの思いを受け止めながら、自分の思いや感じたことを言葉で伝える嬉しさを感じられるようにしていきます。

○水や砂に触れて遊ぶことや、体操やリズムなど体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。



4歳児ほし組

年長児がダイナミックに泥遊びをする様子を見ながら、やりたい気持ちはあっても、どう遊び始めれば良いかわからない様子がありました。保育者と一緒に砂山のトンネル作りをすると「ここにも水を流したい」と考え、トンネルの中に少しずつ水を入れることで、小さな穴に水が溜まっていくことに気が付きました。もっと水を溜めるにはどうしたらよいかを考え、友達や保育者に「いっぱい水を持ってこよう！」「穴を掘ったらいいのかな？」と伝える姿があります。時には「ここに穴を掘らないでほしかった」とイメージの違いからぶつかり合うこともありますが、お互いのやりたいことが分かると納得する姿も見られます。できあがった池を見ると、年長児がしていたように裸足になって池にジャンプ！この経験が自信につながり、今では園庭に出ると「泥遊びしよう！先生も手伝って！」と張り切っています。自分たちのやりたい遊びを継続して楽しむ姿を大切にしていきたいです。

○自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら、友達と関わって遊ぶことの楽しさを感じられるようにしていきます。

○生き物や栽培物を育て成長を楽しみにしたり、身近な自然に触れて遊んだりすることを楽しんでいます。





5歳児 うみ組

サツマイモや稲、蚕といった生き物や栽培物をクラスの友達と相談して、世話することにしました。野菜の苗や稲を植えるために、土を混ぜ合わせたり、畑を耕して畝づくりをしたり準備することから始めました。「○○ってなんだろう？」と思ったことを、絵本や写真で見たり、実際に触ったりしながら知ることができました。蚕の卵をはじめて見た時、「これは蚕じゃない！見たことあるものと違う！」と話していた子どもたち。クラスで観察をしているうち数日後に、孵化した蚕の幼虫を見て「蚕の赤ちゃんだ！」「本物の卵だったね！」と自分たちの目で見ることで、確かめられました。虫眼鏡を使いながら毎日「また生まれてる！」「動いた！」とまだまだ小さな幼虫を観察したり、「桑の葉っぱ枯れちゃってる」と気づき、桑の葉を取ってきて食べやすいように小さくちぎって世話をしています。友達と一緒に経験していく中で、一つ一つのことを互いに相談したり、考えたりすることを大切にしていきます。

- 生き物や栽培物の成長に期待をもち、世話をしたり収穫をしたりしながら自然に触れる面白さや楽しさを味わえるようにしていきます。
- 自分の考えを出し合いながら、友達と一緒に活動する面白さを感じられるようにしていきます。



そよかぜタイムの生活にも慣れ、遊びの中からこうしたらどうなるのかな？というひらめきから、「やってみよう！」と好きな活動が始まります。発見したことや調べて分かったことを友達や保育者に伝え、5歳児が4歳児に教えてあげる姿もあり、異年齢の関わりもできてきました。

5歳児がクラス活動の続きで「転がしドッジをしよう」と友達と話をして、ラインカーで円を描き、じゃんけんをして内野と外野に分かれて『転がしドッジ』が始まりました。友達がいくつか円を書いてできると転がしドッジボールと鬼ごっこがミックスした遊びを考え出しました。すると4歳児は、5歳児がやっている転がしドッジボールを見て、少し離れたところに足で円を描いて自分たちでも遊びに取り入れていました。その後、保育者と一緒に『転がしドッジ』を楽しみました。お互いに刺激を受けながら、みんなで遊ぶ楽しさや様々なことに対する興味が広がるように、子どもたちの発見に共感していきたいと思います。

- 気の合う友達や保育者との関わりを楽しんだり、じっくりと好きな遊びを楽しんだりします。
- 身の回りの物の始末や片付けの仕方がわかり、自分でできるようにしていきます。



そよかぜ



○修了対策委員主催 同窓会について

同窓会は、令和4年度の修了児である1年生とその保護者のみの参加とさせていただきます。

○プールについて

今年度の水遊びやプール活動は、子どもたちの安全に考慮し、無理なく楽しめる水遊びやプール遊びの内容を考えていきたいと思っています。

詳細は後日お伝えいたします。

○夏まつりについて

7月11日（火）に親子で夏祭りを楽しめる内容を計画中です。ぜひ、保護者の方は、参加を予定していただければと思います。

詳細は後日お伝えいたします。

学納金について④⑤

☆学納金は手集金となります。

集金日 6/5（月）6/6（火）

集金時間 8：50～ 9：10

16：00～18：30

☆預かり保育料は毎月翌月の月末に引き落としです。



6月の行事予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|--------------------------|----------------------|-------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|---------------------|
| | | | | 1 保育参加・参観 個人面談③始 歯科健診①～⑤ | 2 保育参加・参観 ⑤終 | 3 |
| 4 | 5 | 6 引き取り訓練 ①～⑤ | 7 連携看護師による 歯の話③④⑤ | 8 AED 訓練(第一) | 9 安全指導 保育参加・参観 個人面談③終 | 10 |
| 11 | 12 保育参加・参観 個人面談①②始 | 13 耳鼻科健診 ④⑤ | 14 | 15 誕生会④⑤ | 16 眼科健診④⑤ | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 プール指導④⑤始 マイ保育園 | 22 AED 訓練(第二) 保護者給食体験 | 23 保育参加・参観 個人面談①②終 | 24 同窓会 (新1年生) |
| 25 | 26 聖和看護学生実習 ～6/29 | 27 おたのしみ おやつ④⑤ | 28 | 29 | 30 | |

《 連絡事項 》



【**歯科・耳鼻科・眼科健診**】

○**歯科健診** 1日(木)①～⑤ 時間…第二園舎 9:30～
第一園舎10:00～
☆当日はうがいや歯みがきを忘れずをお願いします。

○**耳鼻科健診** 13日(火)④⑤ 時間…9:30～

○**眼科健診** 16日(金)④⑤ 時間…9:30～

※健診日には、できるだけお休みしないようにお願いいたします。

【**引き取り訓練について**】 6日(火) ①～⑤

災害に備え、大震災を想定した引き取り訓練を行います。

☆第一園舎④⑤…1回目 13:50
2回目 16:05

☆第二園舎①②③…16:05

※『引き取り確認書』を忘れずにご持参ください。

【**プール指導**】 21日(水) ④⑤

詳細は後日お伝えいたします。

【**おたのしみおやつ**】 ④⑤

27日(火) シャカシャカポテトを作り、みんなでいただきます。

【**AED訓練について**】

8日(木) 第一園舎 22日(木) 第二園舎
消防署に依頼し、職員がAED訓練を受けます。

【**実習生**】 6月26日(月)～6月29日(木)

聖和看護学校の学生がこども園で実習をします。

《 7月の主な予定 》

- 1日(土) 避難訓練(土曜日保育 第二園舎)
- 3日(月) 水遊び①～③始
- 3日(月)・4日(火) 学納金7月8月分集金④⑤
- 5日(水) 避難訓練①～⑤
- 7日(金) 七夕①～⑤
マイ保育園
- 10日(月) 安全指導①～⑤
- 11日(火) 夏まつり①～⑤
- 13日(木) 誕生会④⑤
- 18日(火) 園内研修
※短時間利用の方は13時降園になります。
- 20日(木) 終業式④⑤
合同保護者会(保護者講演会)
- 21日(金) 夏季休業日始④⑤(短)



《 8月の主な予定 》

- 2日(水) 避難訓練①～⑤
- 10日(木) 安全指導①～⑤
- 23日(水)～25日(金) 夏季プール④⑤
- 24日(木) マイ保育園
- 31日(木) 夏季休業日終④⑤・水遊び①～③終